

市内保育所・園、幼稚園、認定こども園、小中学校の保護者の皆様 地域の皆様へ

教育センターだより【9号】

令和5年2月1日 発行

創る

518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

適応指導教室(さくら教室) 2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0595-64-8802

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

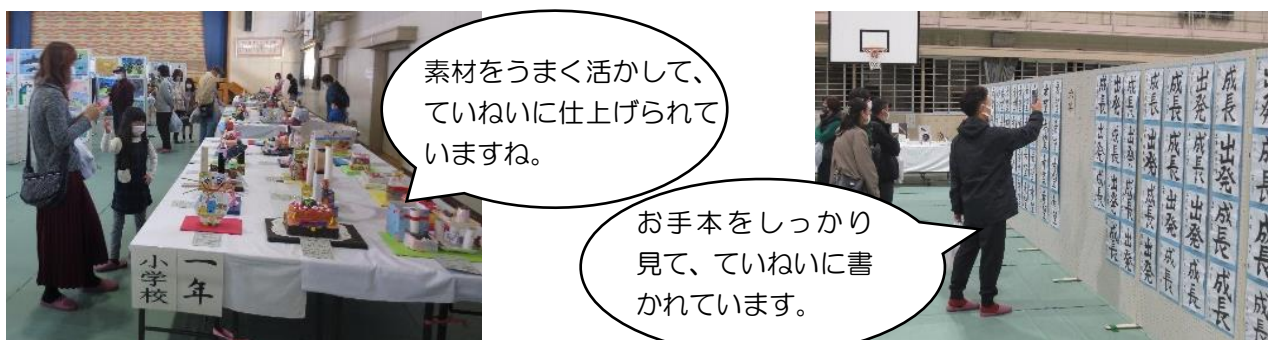
学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

3年ぶりの名張市学校・園美術展覧会 11月25日(金)~11月28日(月)

新型コロナウイルス感染拡大のため、開催が見送られていた名張市立学校・園美術展覧会が3年ぶりに行われました。4日間にわたり行われた美術展には、公立幼稚園・小学校・中学校合わせて図画428点、工作・工芸215点、書写340点の合計983点が出品されました。また、会場となった梅が丘小学校には、延べ3429名の方にご来場いただきました。

会場には、日々の学習で一生懸命に取り組んだ子どもたちの力作が展示され、会場を訪れた方の中には、「子どもたちの発想力や表現力の豊かさに感動しました。元気をもらいました。」とお話をしていただく方もいらっしゃいました。また、来場していただいた皆様には、アンケートへの心温まるメッセージを多数いただきました。今後も、子どもたちの学習の成果を保護者・地域の方々にお伝えする機会を大切にしていきたいと思います。本当にありがとうございました。



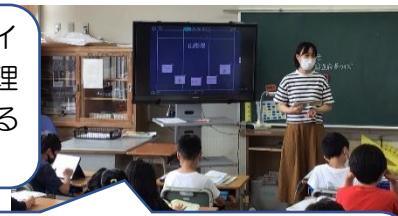
学校での子どもたちの学びを紹介します！

GIGA スクール構想の実現により、子どもたちに1人1台タブレット端末が配備されており、それを利活用した学習が行われています。



タブレット端末を利用することで、自分の考えをより分かりやすく相手に伝えることができます。

学習支援アプリケーション「ロイロノート」を活用し、情報を整理しながら、自分の考えをまとめることができます。



授業の中で、一人一人の考えをすぐに共有することができるため、幅広い考え方を身につけることができます。

さらに、教育DXの推進によって、学校教育が大きく変わります！

一人ひとりの学習データを蓄積することで、個々の学習状況に合わせた教育を受けられる。

タブレット端末を利用したテストなどにより、教師が子どもの理解度を把握できる。

週末教育事業実施報告

『水引細工で壁飾りをつくろう』 12月3日(土)

水引細工に詳しい、小島結納品店の方を講師として招き、水引で小物作りにチャレンジしました。子どもたちは、「あわじ結び」などの結び方を教えていただき、壁飾りや箸袋を完成させていました。

【参加者の感想】

- ・最初は難しかったけれど、できたら嬉しかったし飾りを作るのが楽しかった。
- ・「あわじ結び」や「梅の花」がすごく上手にできた。
- ・3本の水引で結ぶのがうまくいなくて難しかった。



『「カブラ」で夢の街をつくろう』 12月17日(土)

自分たちの住みよい街を考えるきっかけとして、「カブラ」という積み木を使って街づくりにチャレンジしました。子どもたちは、6000個ものカブラを使い、たくさんの建物が並ぶ夢の街を完成させました。

【参加者の感想】

- ・友だちと協力して、おもしろい建物を作ることができて楽しかった。
- ・カブラを三角に積み上げていくのが、難しかった。
- ・カブラで街を作ったり、積み上げたりしたところが楽しかった。

週末教育事業では、「創造・探求・伝承」をキーワードとして、理科実験やものづくりなどの体験活動を実施しています。自ら探求し、達成していく喜びを実感する体験を通して、子どもは大きく成長できると思います。皆様のご参加をお待ちしています。

次回

2月18日(土) フログラミング教室(ロボットを動かすためのフログラミングを学ぼう)

※詳細は、名張市教育センターホームページをご覧ください。

家庭教育連続講座

「ありがとう」「ごめんなさい」が家族のはじまり

12月13日(火)

松原利子さん(津家庭教育研究会)から、家庭をなごやかで安らぎの場にするために大切なことをお話していただきました。

この講座を通して、「話し合いをもつときには、相手の主張を尊重しながら、思いを伝えること」や「相手の話に耳を傾けること」といった素直さ・謙虚さ・思いやりが、お互いの関係をより心地よいものにするということを学ぶことができました。



ゆれながら成長する心～いじめ・知情意～

1月10日(火)

山下裕子さん(津家庭教育研究会)から、家庭におけるいじめをなくす触れ合いや子どもの豊かな心を育てるために大切なことについてお話をしていただきました。

家庭教育は、豊かな人間性を培う教育であり、親の「感じる心」を、子ども目線で言葉にして伝えることで、子どもの「感じる心」が育つことを学びました。

そのために、親が子どものもっている「向上心」や「自尊心」・「自立心」伸ばすことで、子ども自身が喜びやぬくもりを感じられる豊かな情感を育てることが大切だと知りました。



家庭教育連続講座・豊かな子育て研修講座は、子育てについての家庭教育支援を目的として実施しています。

教育センターで行われているこれらの講座に参加が困難な方は、名張市教育センターホームページ内で、「学びの伝言板」として参加された方の学びを紹介していますので、ぜひ、ご活用ください。

今年度の家庭教育連続講座(全5回)と豊かな子育て研修講座(全2回)は全て終了となりました。多数のご参加、ありがとうございました。次年度も、ご活用ください。